

# わたしの議会。



答志小学校の3・4年生の皆さんが議場へ社会見学に来てくれました！

鳥羽市議会各種SNS



## とば市議会だより 目次

中世古泉議員に対する 議員辞職勧告決議の経過……………	2～3	議員別表決結果……………	8
令和2年度決算の概要……………	4	一般質問……………	9～11
議案質疑……………	5	議長定例記者会見の実施について…	11
常任委員会報告……………	5～7	きらり輝く人達、他……………	12

# 中世古泉議員に対する辞職勧告決議の経過

6月28日 南川則之議員・瀬崎伸一議員・山本哲也議員が審査請求書を提出

中世古泉議員は鳥羽市議会議員政治倫理条例第3条第9号「市民全体の代表者として、その品位と名誉を損なう一切の行為をしないこと」に違反しているとして審査を請求。



## 具体的な違反内容

- ①令和2年度固定資産税等の未納
- ②会議等への遅刻・欠席ならびに紀律及び資質の欠如

## 政治倫理審査会で審査（全5回開催）

委員会構成：坂倉紀男会長、奥村敦副会長、河村孝委員、戸上健委員、浜口一利委員、坂倉広子委員、世古安秀委員

### 第3回政治倫理審査会

中世古泉議員は違反内容について説明を求められたにもかかわらず、全体的に、「うろ覚えであります」や、「記憶にない」等の答弁も多く、委員が納得するような資料の提出もなされなかった。

### 第4回政治倫理審査会

「税金等の滞納」理由を入院費用等が多くかかったためと本人が述べたが、提出資料の精査と質疑応答の結果、滞納理由と認められず、さらに第3回審査会では聞かれなかった「そのほかの事情がある」との答弁もあったが、明確な理由は示されなかった。

「会議等への欠席・遅刻」、「一般質問中のスマートフォン通話疑惑、議案書を開会日より前に受け取りに来ない」等については、委員から病気との因果関係が分かるように主治医の意見書の提出を求めていたが、実行されず、審査会で中世古泉議員が自ら疑義を晴らす意思がないと判断された。



政治倫理審査会で鳥羽市議会議員政治倫理条例第3条第9号に掲げる政治倫理基準に違反する行為があったと認定(全会一致)議長へ附帯意見とともに審査結果を報告した。



詳細な内容はこちら



## 附帯意見

議会の信頼を回復し、議員の市民への説明責任を果たすため、中世古泉議員に対して辞職勧告を行うべきと考える。

## 9月6日本会議において中世古泉議員に対する議員辞職勧告決議を提出

この度の政治倫理審査会の審査結果は、極めて重大であり、中世古泉議員は、市民の範として法令等の遵守が強く求められる市議会議員の職にありながら、その規範意識の欠如とも思われる行為により、市議会に対する市民の信頼を著しく失墜させており、断じて許されない。

よって、中世古泉議員は、公職である市議会議員としての政治的、道義的責任を免れず、このまま議員職にとどまることは、市民感情からして許されるものではなく、事態の重大さを真摯に受け止め、自らの意思により直ちにその職を辞することを勧告するものである。(中世古泉議員に対する議員辞職勧告決議より抜粋)

↓

辞職勧告決議※が可決（全会一致）

※辞職勧告決議とは

辞職を勧めることを内容とする、議会としての意思を表明する決議のことをいう。法的効果はなく、強制的に辞職させることはできない。



辞職勧告決議全文

↓

### 9月24日全員協議会において中世古泉議員に発言を求める

辞職勧告決議が可決されたことに対する正式な発言がなされていないことから、公人であることを踏まえ、中世古泉議員に対し、自身の今後について発言を求める。

中世古泉議員

現状お詫びをするしか考えられない状況でいるので、粛々と議員としての立場を全うしていきたい。  
選挙で選ばれた以上、任期を全うしたいと思っている。

↓

今回の一連の騒動について自ら市民への説明責任を果たすべきであるとの意見に対して、中世古泉議員は後日、記者会見を実施することを表明した。

↓

### 9月27日記者会見における中世古泉議員の発言の概要

**記者：辞職勧告決議を受けて、議員を辞職するという選択はなかったのでしょうか。**

→中世古議員：正直に言って、そこにはつき当たらなかったと思います。

**記者：市民からのご理解は得られると考えていますか。**

→中世古議員：いろいろな方のご意見があると思いますけど、直接「おいやめろよ」というような言葉を聞いたことももちろんですし、もし今からでもそういう方がおられたらちゃんとした説明をさせていただきたいと思います。もちろん、それ以上の努力は必要だと思いますけど、やらしていただけるようにがんばっていきたいと思います。

**記者：どうして辞職勧告決議までいったのかわからないというお話がありました。**

→中世古議員：そこまでの大事をしてしまったという意識はないし、まあ、だからといっていいことをしたということでもないですもんで、こうやって皆さんお集まりいただいておりますのは、私のこういう行動が問題になってくるというような…本当に申し訳ないと思います。

↓

### 9月30日議会定例記者会見における議長の発言

中世古泉議員の件につきましては、市民の皆様に対し多大なご心配とご迷惑をおかけしていることを大変申し訳なく思っています。本人は「市民からやめろと言われたこともない、辞職にはあたらな<sup>い</sup>」と発言をしていますが、同僚議員や議会事務局には電話やメール等にて苦情や問い合わせが多数届いています。自らが住民代表の議員として相応しいのか、今一度市民からの声に耳を傾け、判断をしていただく必要があると思っています。

令和2年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定についてなど、執行部提案議案16件、諮問2件、請願2件、発議4件を審議しました。

## 令和2年度決算の概要

- 地方創生臨時交付金3億6,146万9千円を活用し、感染防止対策や生活支援、市内経済の循環に資する事業を実施しました。
- 市民体育館サブアリーナ（令和2年度事業費7億4,934万9千円）及び消防庁舎（令和2年度事業費5億4,656万4千円）が竣工しました。
- 性質別においては、補助費等で特別定額給付金や新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金など前年度比20億3,192万9千円増の32億4,618万6千円となりました。  
令和2年度の決算は、一般会計で実質収支が5億559万6千円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支においても1億5,821万4千円の黒字となりました。  
また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で8,376万2千円、介護保険事業で1億1,562万3千円、後期高齢者医療で419万4千円の黒字となっており、5事業の合計で2億358万1千円の黒字となりました。  
令和2年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

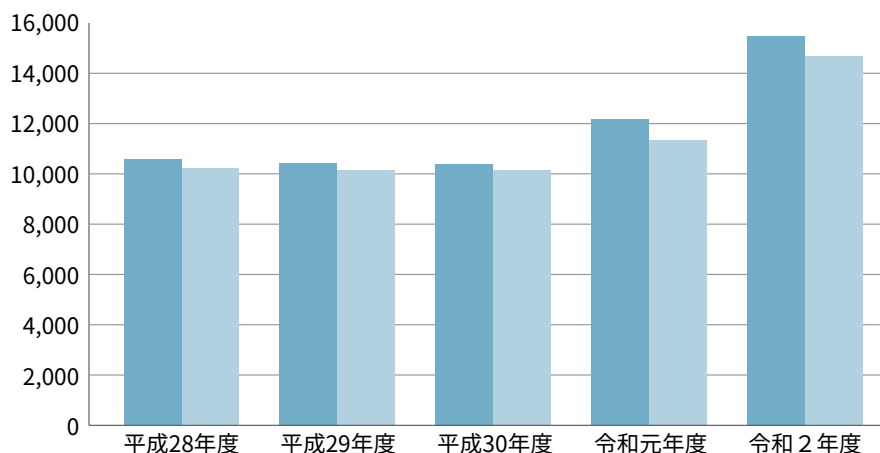
### 令和2年度 会計別決算状況

（単位：千円）

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	令和元年度 実質収支	令和2年度 単年度収支
会計		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		15,401,392	14,888,296	513,096	7,500	505,596	347,382	158,214
特別会計	国民健康 保険事業	2,945,715	2,861,953	83,762	0	83,762	45,714	38,048
	介護保険 事業	2,815,798	2,700,175	115,623	0	115,623	95,445	20,178
	定期航路 事業	583,045	583,044	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	154,808	154,807	1	0	1	1	0
	後期高齢者 医療	537,261	533,067	4,194	0	4,194	4,359	△ 165
	小計	7,036,627	6,833,046	203,581	0	203,581	145,520	58,061
合計 (一般+特別)		22,438,019	21,721,342	716,677	7,500	709,177	492,902	216,275

### 一般会計決算規模の推移

（単位：百万円）



年度	歳入	歳出
平成28年度	11,615	11,348
平成29年度	11,649	11,431
平成30年度	11,671	11,241
令和元年度	12,078	11,730
令和2年度	15,401	14,888



・議案質疑・

認定第1号

令和2年度鳥羽市一般会計及び

各特別会計歳入歳出決算認定

戸上 健

財政健全化はどこまで到達したか

市長

様々な取組を実施することで、  
堅持できた

問 令和2年度予算執行で目標とした財政健全化は、どこまで到達しましたか。

答 市長 国からの地方創生臨時交付金をはじめとする各種交付金の活用など、様々な取組を実施することで、財政健全化への取組を堅持することができました。

問 令和2年度予算執行において、地域経済循環はどこまで進捗しましたか。

答 市長 できる範囲で地域経済の好循環が図られるよう、地域経済の下支えや域内循環に取り組んできました。

地域経済の域内循環における進捗状況は、一步一步着実に進んでいるものと考えています。

# 常任委員会報告

● 各常任委員会に 14 議案と 2 請願が付託されました。

## 行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第14号 鳥羽市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について（過疎地域自立促進特別措置法の失効を受け、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が制定されたことに伴い、地域の持続的な発展を実現するための税制上の措置に関し必要な事項を定める。）

①対象事業の追加（情報サービス業等）  
②固定資産税免除の対象となる取得価格の変更

・鳥羽市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例は、廃止する。）

問 取得価格の要件が2700万円から500万円に下がるが、これにより該当する件数は何件か。

答 半島振興法では毎年1〜3件ほど申請が出ている。過疎法は課税免除、半島振興法は不均一課税であることから、半島振興法を受けていた方が過疎法に移行してくるのではないかと考えている。

議案第19号 鳥羽市立かもめ幼稚園預かり保育条例の一部改正について（市立かもめ幼稚園における預かり保育の保育料と、市立保育所における保育の利用者負担額との不均衡を解消するため、所要の改正を行う。）

①預かり保育の保育料について、国が定める無償化上限額と同額に改定することにより、利用者の負担を「0円」とする。）

問 対象者は今何人いるのか。

答 令和3年度8月に預かり保育を利用した人数は9名となっている。その内、条例改正に

より無償化の対象となる人数は8名である。

議案第21号 鳥羽市辺地の総合整備計画の策定について（本市の各離島及び石鏡町辺地の公共施設の総合整備を進めるため、鳥羽市辺地の総合整備計画を策定したく、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により、議会の議決を求める。）



## 予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

認定第1号 令和2年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定

審査終了後の委員間討議で委員から出された主な意見

### 企画財政課

地域おこし協力隊事業について隊員を中心に地域が一体となり、地域共生社会づくりが始まっており、その活躍を評価する。中でも、「いじかカラプロジェクト」は、企画財政課、観光課、建設課が連携しながら地域おこし協力隊員が核となり、地元住民、行政の協働で実現した成功例となった。

### 税務課

コロナ禍で厳しい状況の中、スマートフォン決済の導入や納税相談に対する丁寧な窓口対応が市税の徴収率下落を最小限に抑えることにつながっており、評価する。

### 市民課

新型コロナウイルス感染症対策として実施された特別定額給付金給付事業の受付業務において臨機応変に市民に寄り添った窓口体制を構築したことを評価する。

### 健康福祉課

福祉運送事業における福祉バスや移送バスのあり方について、利用者の利用しやすい、時代に即した、地域格差のないような形を目指しながら、さらには持続可能な地域公共交通の構築に向けて企画財政課や定期船課、観光課などの各課と議論を深めていただきたい。

### 農水商工課

農業振興鳥獣対策事業について

て、捕獲強化分に対する県補助金の追加もありイノシシ等の有害捕獲頭数が増加した。このことについて効果を検証し、効果的な事業実施を継続してほしい。

### 観光課

新型コロナウイルス感染症対策事業においてアイデアに富む鳥羽市の独自性が出た事業を多く展開しており、おもてなしの心が感じられたことを評価する。

### 建設課

道路管理者として対応すべき道路維持について、地元ニーズに応えられるよう予算確保に努めていただきたい。

### 消防本部

新消防庁舎が建設されたものの訓練棟の移設がなされており、急ぎ実施すべき。

### 学校教育課

GIGAスクール構想において整備されたタブレットや高速通信ネットワークの整備等に伴う機器の更新費用や学習・管理



左から 立花副市長、南川予算決算常任副委員長、世古予算決算常任委員長、中村市長、木下議長、河村副議長



提言書  
 昨年度に引き続き今年度も提言書を市長に提出しました。提言書はホームページでも公開しています。(内容の詳細は左のQRコードからご覧いただけます)

ソフトウェア、機器のサポート等のランニングコストについては、国が推し進める事業であることから、国、県に対しても費用負担を求めている。

議案第12号 令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)

〈補正予算の例〉

- 新型コロナウイルススワクチン接種事業(新型コロナウイルススワクチン接種について、10月以降も未接種者を対象に集団接種を実施することから、費用を補正)  
 ……2499万4000円
- 観光振興推進事業(新型コロナウイルスナウシルス感染症の影響により経済的な打撃を受けた観光施設や宿泊施設を支援するため、新たな観光客の誘致や市内周遊促進につながる事業を実施する)  
 ……1551万9000円

- 東京2020オリパラ推進事業(東京2020オリンピックで金メダルを獲得した山田優選手を市全体で祝福し、盛り上げるための費用を補正)  
 ……300万円

2款総務費

問 山田優選手の金メダル獲得の栄誉を称えるための儀式

表彰の事業内容は。

答 市民栄誉賞第1号として、表彰と真珠製品を記念品として贈呈する方向で検討している。

議案第25号 令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第8号)

〈補正予算の内容〉

- 中小企業支援事業(飲食店の休業・時短営業、外出自粛等の要請に伴い、中小法人・個人事業者等の事業継続を支援するため、支援金を支給する費用を補正)  
 ……2600万円

問 近隣市町の事例をみて、検討したか。

答 近隣市町では、売り上げ減少率のカバー範囲をすべてとする市町もある。鳥羽市で対象をすべてとした場合、非常に多くの費用が必要となる。そのため国が出していない範囲の30パーセント以上50パーセント未満とした。

人事

教育委員会委員の任命に同意

中島 幸代 氏

公平委員会委員の選任に同意

濱口 浩代 氏

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることに同意

笠井 杉代 氏

下村 明美 氏

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村 敦	河村 孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上 健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	坂倉紀男
12	令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)	9月30日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
13	令和3年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
14	鳥羽市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
15	鳥羽市離島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例及び鳥羽市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
16	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17	鳥羽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
18	鳥羽市介護保険条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
19	鳥羽市立かもめ幼稚園預かり保育条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
20	鳥羽市過疎地域持続的発展計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
21	鳥羽市辺地の総合整備計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
22	令和2年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
23	教育委員会委員の任命について		9月15日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	公平委員会委員の選任について	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第8号)	9月30日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定1	令和2年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定2	令和2年度鳥羽市水道事業会計決算認定について	9月15日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願2	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願	9月30日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願3	新型コロナウイルス感染症・まん延防止等重点措置(2021年8月20日～)・緊急事態宣言(第4次・2021年8月27日～)・「三重とこわか国体・三重とこわか大会」中止による土産物事業者の売上減少に対する経済的支援を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議4	中世古泉議員に対する議員辞職勧告決議について	9月6日	可決	○	○	-	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	
発議5	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について	9月30日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議6	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や三重とこわか国体の中止等による土産物事業者の売上減少に対する県の経済的支援を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議7	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や三重とこわか国体の中止等による土産物事業者の売上減少に対する国の経済的支援を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告2	令和2年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし														
報告3	令和2年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告4	令和2年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告5	令和2年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																
報告6	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																
報告7	専決処分した事件の報告について(令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第5号))																
報告8	専決処分した事件の報告について(令和3年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号))																
報告9	専決処分した事件の報告について(自動車破損事故に伴う和解及び損害賠償の額を定めることについて)																

議長につき採決なし



これが聞きたい・ここが聞きたい

# 一般質問



9月10日に4人の議員が一般質問を行いました。  
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月10日(金)	戸上 健	新型コロナウイルス感染症対策について 高齢者対策について 子育て支援策の強化について
	濱口正久	鳥羽市の子ども・子育て政策の現状と課題からみた地域共生社会のあり方について
	坂倉広子	生理の貧困に対する市の考えと今後の取り組みについて 通学路の安全対策について
	南川則之	災害から市民の命を守るための避難所の設置及び対策と土砂災害の被害を防ぐ砂防事業について 三重県立鳥羽高等学校の活性化に関する鳥羽市の支援・対策について

## 新型コロナウイルス感染症の 現状認識は

市長  
.....  
新たなフェーズに  
入っている

**問** 新型コロナウイルス感染症の鳥羽市の現状について、市長の認識をお伺いします。

**答** 市長 今、誰もがどこで感染してもおかしくない状況であり、本市にとりましても新たなフェーズに入っていると感じています。

**問** ワクチンを打てない12歳以下の子供たちをどう守りますか。PCR検査、抗原検査を鳥羽市はどのように具体化しますか。

**答** 学校教育課長 文部科学省より、小・中学校で抗原検査を実施するため、近々検査キットが鳥羽市に70セット配布されます。児童・生徒については、すぐに帰宅することが困難な場合や、医療機関を直ちに受診できない場合等において、小学4年生以上の児童・生徒に対し、本人及び保護者の同意を得てキットを使用し、検査を行うことが可能となっております。



ワクチン接種会場

市長  
.....  
補聴器助成の導入を  
今後の検討課題としたい

**問** 補聴器助成制度の導入について、市長のご所見を伺います。

**答** 市長 身体障害者手帳の交付を受けることが可能な方には、制度を活用して補聴器を購入いただくこと、並行して、聞こえの相談会等の実施などを予防の一環として検討していきたいと思っております。手帳を持たない方の購入助成につきましては、今後の検討課題にしていきたいと思っております。



戸上健

## ヤングケアラーに該当する事例は把握しているか



濱口正久

健康福祉課副参事

### 把握をしている

**問** 子育て支援室として、ヤングケアラー※に該当する事例は把握していますか。

**答** 健康福祉課副参事 「子どもの総合相談ほっぷ」でこれまでのところ、ヤングケアラーに関する相談は受けていません。ただし、学校での心の相談員や児童相談所からの情報共有の中で、ヤングケアラーに該当すると思われる子供は把握をしています。

**問** ヤングケアラーに該当する子供たちへはどのような対応をしていますか。

**答** 健康福祉課副参事 子供の保護者と相談員との関係性構築等に係る課題があります。そのため、今年度から家庭児童相談員や子育て支援員に学校教員OBを迎え、学校現場との情報共有を密にすることで対応しています。



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

※ヤングケアラー…本来大人が担うような家事や家族の世話等を行っている18歳未満の子供のこと

**問** 市長が考える子供たちにとって住みやすいまちとはどんなまちですか。

**答** 市長 子供が暮らしたいと思うまち、暮らし続けられるまちというのは、全ての世代にとって受け入れの温かいまちだというふうに思います。それぞれの可能性を考え、意識しながら職員も各課もやっていく必要があると思っています。誰もが輝く、誰一人取り残さないという意識を持っていくように進めていきたい。

**問** 鳥羽市の通学路の点検について、各校ではどのように把握をしていますか。

**答** 学校教育課長 通学路の危険箇所については、各校により違いはありますが、教職員やPTA、児童・生徒の点検活動や報告により、毎年洗い出しを行っています。

**問** 合同点検の通知を受けて、市はどのような対応をされましたか。

**答** 市民課長 今回、文部科学省の通知を受け、9月14日に鳥羽警察署、道路管理者、小・中学校、町内会及び自治会、教育委員会、市民課にて合同点検を実施する予定です。

**問** ゾーン30※の設置についての考えをお聞きます。

**答** 市民課長 設置につきましては、関係機関等で設置の条件や必要性について協議、検証しながら対応していきたいと考えています。

## 通学路の安全対策について 市長の思いは



坂倉広子

市長

### さらなる安全確保に努めていきたい

**問** 通学路の安全対策についての市長の思いをお伺いします。

**答** 市長 子供たちがいきいきと活動して安心して学べるようにするためにも、八街市の事例とか、事故が起こることがないように、関係機関が緊密に連携を取りつつ、取組を継続することによって、通学路のさらなる安全確保に努めていきたい。

※ゾーン30…区域(ゾーン)を定めて時速30キロの速度規制等を実施し、ゾーン内における車の走行速度や通り抜けを抑制する交通安全対策の一つ



交通安全合同点検の様子

## 桃取町での 砂防ダム建設の必要性は



南川則之

副市長

将来の災害に備える  
大変意義のある事業  
と思っっている

の災害に備える大変意義がある事業  
と思い、取り組んでいます。

鳥羽高等学校への一層の  
充実した支援・対策は

市長

市の支援は、出し惜しみなく  
継続していきたい

問 桃取町自主防災会の取組の評価に  
ついて聞きます。

答 総務課副参事 桃取町では、自助・  
共助を意識した防災活動を継続的  
に取り組んでおり、自主防災会が作  
成した避難所運営マニュアルは、他  
の地域の自主防災会などにも紹介  
させていただいています。このこと  
から、桃取地区における防災意識は  
非常に高いものと評価しています。

問 今後の鳥羽高等学校の更なる活性  
化と協働に向けたより一層の充実し  
た支援・対策について聞きます。

答 市長 これまでにもやれることは  
やってきましたが、市からの支援は  
出し惜しみなく継続をしていきたく  
いと思っています。  
また、金メダルを獲得した山田選  
手等の影響は計り知れないものが  
あるので、機会を逃さずに頑張りたく  
いと思っています。

答

副市長 線状降水帯で長雨が降ると  
土壌飽和度が上がり、谷が抜けて  
土石流が発生することがあります。  
この事業は、現地の土を利用し、セ  
メントと混ぜて本体をつくるという  
特殊な砂防ダムをやっています。将来

問

桃取町での砂防ダム建設について、  
地元住民も事業の詳細について説  
明を受けていないとの声があります  
が、事業の必要性について聞きます。



桃取町自主防災会  
マニュアル表紙

## 議長定例記者会見の実施について

第2回目の議長定例記者会見は、9月30日(木)議会終了後に行われました。

### 【記者会見内容】

- 1、議長あいさつ
- 2、9月議会を振り返って
  - (1)議決の状況
  - (2)請願の状況
  - (3)意見書・議決の内容
- 3、今後の議会運営について
  - (1)各委員会の開催
- 4、議長の一言
  - (1)中世古泉議員に対する議員辞職勧告決議について
  - (2)令和4年度予算編成に対する提言書
- 5、質疑



記者からの質問に回答する木下議長

次回は12月議会終了後に実施予定です。

## 年賀状の自粛申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。





## きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

### プロフィール

早稲田大学スポーツ科学学術院助教

きのした けいた  
木下 敬太さん

2021年より現職。オタワ大学(カナダ)にて博士号取得。心理学と統計学を用いたアプローチで「スポーツを道具として人々を幸せにする研究」に従事している。現在は、カナダ防衛省やオタワ大学とのプロジェクトに加え、東京オリンピックの社会効果に関する研究なども主任研究者として主導している。国際的主要学術誌への論文発表や国際学会でのプレゼンテーション、早稲田大学の留学生を対象とした英語プログラムにおいても教鞭を取るなど、国際的にも活動を行っている。また、教育者として人々と組織のパフォーマンス、モチベーション、幸福感を高めるためのサポートも行うことで科学と現場をつなぐ架け橋となることを目指している。

スポーツを通して人々や社会を元気にする研究への協力や支援・またはコラボをしていただけるという方がいらっしゃいましたら、下記ホームページ、またはEメールより連絡いただけますと幸いです。

URL <https://note.com/sxmlab/n/n55f1305ee4e6>

MAIL [step.by.step.1016@gmail.com](mailto:step.by.step.1016@gmail.com)

―幅広く活動されていますが、木下さんがお仕事でやりがいを感じる瞬間はどんな時ですか。

私の仕事は、夏休みの自由研究の進化版みたいなもので、好きなことをひたすら学び続けるこんなにもいい仕事は他にないと思っています。笑 他にも、海外の研究者や組織とプロジェクトをしたり、海外からの学生の指導をしたりと国際的に活動できるのも楽しいです。

―海外留学や県外での生活を経験されている木下さんから見た現在の鳥羽の印象を教えてください。

自然こそ人間の原点だと思っているので、鳥羽は豊富な自然に囲まれ本当に素敵な場所です。また、鳥羽の海産物などは北米の食べ物とは比べ物にならないほど美味しいです。今は東京にいますが、海産物などは鳥羽の物がいいですね。笑

―最後に、鳥羽の子ども達へメッセージをお願いします。

言い訳を作って、諦めることは簡単です。世界にはすごい人たちが沢山いて、諦めなかった人だけが見ることが出来る景色があると信じています。勇気を持って、どんどん広い世界に出ていって下さい。最初の一步を踏み出す勇気さえあれば、大抵のことはなんとかなるはずですよ。

## 編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第177号をお届けします。

令和2年度の決算の概要をご覧いただけただでしょうか。9月の予算決算常任委員会での議論は4日間にわたり審査を行いました。一部はページに掲載しておりますが、掲載した内容以外にも多くの意見がありました。詳細をYouTubeでご覧いただければ幸いです。(鳥羽市議会YouTubeは表紙のQRコードからご覧いただけます)

記 山本哲也

広報広聴委員会	委員長	奥村 敦
	副委員長	山本哲也
	委員	濱口正久
	委員	瀬崎伸一
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	坂倉広子